

【保健環境研究センター2月だより】

～ロタウイルスの流行シーズンです～

●春先はロタウイルスが流行します。

冬期の胃腸炎といえばノロウイルスが有名ですが、ノロウイルスのピークが過ぎると次にロタウイルスによる胃腸炎の流行が始まります¹⁾。ロタウイルスは毎年2月～5月頃に流行し、5歳までにほとんどの子供が初感染を経験します。

ロタウイルス胃腸炎はノロウイルス胃腸炎に比べ重症化する率が高く、日本では6歳未満の小児のうち2人に1人がロタウイルス胃腸炎により外来を受診し、その1割が入院していると推計されています。

ロタウイルスの予防のためには、手洗いが大切です。おむつ替えやトイレの後、食事の前等には子供の手洗いを手伝ってあげましょう。



●ロタウイルスによる重症化はワクチンで予防できます。

ロタウイルスに対するワクチンが、日本でも最近使用できるようになりました。単価ヒトロタウイルスワクチン「ロタリックス」は生後6週～24週までに2回、5価ウシ・ヒトロタウイルス組換えワクチン「ロタテック」は生後6週～32週までに3回接種します。どちらも効果は同じで、ロタウイルス胃腸炎による入院を9割程度抑制できると言われています²⁾。

ロタウイルスワクチンは任意接種となりますので、費用は自己負担となります。ロタウイルスワクチンを接種する場合、予約が必要な医療機関が多いため、あらかじめ医療機関へお問い合わせ下さい。

●主流株の遺伝子型は毎年変化します。

奈良県ではロタウイルスの遺伝子型に関して10年以上継続的に調査を行っております。図に示したように奈良県ではG1型とG3型が主に流行しており、その割合は年ごとに変化していることがわかります。

今後はワクチン導入により、ロタウイルスの遺伝子型にも影響が出ると考えられます。引き続き調査を実施するためにも病原体定点医療機関の先生方には、検体の採取のご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

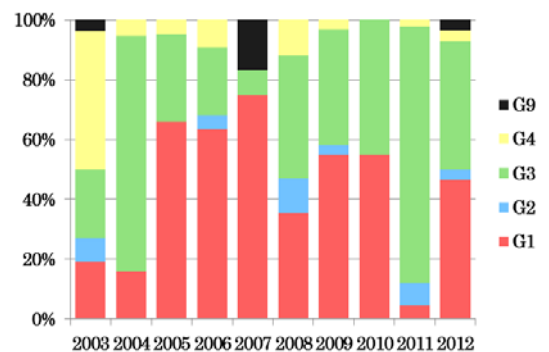


図. 奈良県におけるロタウイルスのG遺伝子型発生頻度(2003-2012)

¹⁾ IASR 32: 61-62, 2011 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/32/373/tpc373-j.html>

²⁾ IASR 32: 67-68, 2011 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/32/373/dj3734.html>

(ウイルスチーム 浦西 記)

感染症情報センターホームページアドレス

http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-27874.htm